

○高校生の視点で創る ～2019 高校生による地域づくりサミット in 但馬～



7月13日(土)本校主催の高校生による地域づくりサミット in 但馬が、村岡老人福祉センターで行われました。第一部は島根大学名誉教授の保母武彦氏に「明るく元気な地域づくりを目指して」というテーマでご講演をいただきました。保母先生には、村岡高校と香美町の地域創生の取り組みに長くかかわっていただいています。香美町のまちづくりの為に、ヒントとなる全国の事例をお話しいただきました。(写真左)

第二部では、浜坂高校、生野高校、香住高校、村岡高校の4校の生徒と、本校卒業生で鳥取大学地域学部1年の井端実優さんと小林笑果さんの2名を加え、コーディネーターを筒井一伸鳥取大学教授にお願いして、「高校生にとって居心地のいい地域とは」というテーマでパネルディスカッションを行いました。(写真下)



「高校が〇〇だったらテンションが上がる」「通学路で好きなところ」「居心地のよい地域に必要なこと」という問いかけから、各校の生徒が回答していくという形でディスカッションが進められました。最終的に「高校生が〇〇するから、大人は、〇〇して」という形で、高校生の柔軟な発想を地域づくりに活かしていくヒントを導き出させていただきました。生徒の思い出の場所であるふるさとの中に、安心できる空間、楽しい場所、集える場所があれば、居心地の良い場所ができるのではないかということを感じました。

最後に保母先生からも高校生が自由に意見を言える場をつくることの大切さ、その場があるからこそ、生徒が真剣に考えていくことにつながることで、地域として第一歩を踏み出すことの大切さをご助言いただきました。

この日は、朝からPTAの親子ボランティア、そしてサミットと1日お世話になりました。また、保護者、地域のみなさん、香美町役場の方にもご多用の中、ご出席いただきました。ありがとうございました。